

「大切な文化財は地元消防団が守るぞ！」文化財防火訓練を実施

広島市佐伯区五日市町大字石内にある、白山八幡神社（うすやまはちまんじんじゃ）において、令和5年1月29日（日）、佐伯消防署、佐伯消防団による文化財防火訓練を実施しました。

この訓練は、神社の境内に捨てられたたばこの吸い殻が付近の枯れ葉に着火し、風にあおられ拝殿に延焼したという想定で訓練が実施されました。

火災の指令を受けた石内分団の消防団員は、付近の防火水槽に部署するやいなや可搬ポンプから長距離ホースを延長し消防ポンプ車に中継送水後、火災防ぎょにあたりました。

日頃から行っている、ホース延長、放水もスムーズに実施され、広島市指定重要有形文化財（金銅円板懸仏：こんどうえんぱんかけぼとけ）も、無事、火災から守られました。



